

350 Fifth Avenue, 34th Floor
New York, NY 10118-3299
Tel: 212-290-4700
Fax: 212-736-1300; 917-591-3452

ASIA DIVISION

Brad Adams, *Executive Director*
Kanae Doi, *Japan Director*
Meenakshi Ganguly, *South Asia Director*
Elaine Pearson, *Australia Director*
Sophie Richardson, *China Director*
Phil Robertson, *Deputy Director*
John Sifton, *Advocacy Director*
Patricia Gossman, *Associate Director*
Judy Kwon, *Seoul City Director*
Mickey Spiegel, *Senior Advisor*
Linda Lakhdhir, *Legal Advisor*
Jayshree Bajoria, *Senior Researcher*
Andreas Harsono, *Senior Researcher*
Sunai Phasuk, *Senior Researcher*
Tejshree Thapa, *Senior Researcher*
Maya Wang, *Senior Researcher*
Carlos H. Conde, *Researcher*
Saroop Ijaz, *Researcher*
Yaqiu Wang, *Researcher*
Riyo Yoshioka, *Senior Program Officer*
Teppei Kasai, *Program Officer*
Shayna Bauchner, *Senior Coordinator*
Nicole Tooby, *Senior Associate*
Racquel Legerwood, *Associate*
Seashia Vang, *Associate*

ADVISORY COMMITTEE

David Lakhdhir, *Chair*
Orville Schell, *Vice-Chair*
Maureen Aung-Thwin
Edward J. Baker
Robert L. Bernstein
Jerome Cohen
John Despres
Mallika Dutt
Kek Galabru
Merle Goldman
Jonathan Hecht
Sharon Hom
Rounaq Jahan
Ayesha Jalal
Robert James
Joanne Leedom-Ackerman
Perry Link
Krishen Mehta
Andrew J. Nathan
Xiao Qiang
Bruce Rabb
Balakrishnan Rajagopal
Ahmed Rashid
Victoria Riskin
James Scott
Mark Sidel
Eric Stover
Ko-Yung Tung
Francesc Vendrell
Tuong Vu

HUMAN RIGHTS WATCH

Kenneth Roth, *Executive Director*
Michele Alexander, *Deputy Executive Director, Development and Global Initiatives*
Nicholas Dawes, *Deputy Executive Director, Media*
Iain Levine, *Deputy Executive Director, Program*
Chuck Lustig, *Deputy Executive Director, Operations*
Bruno Stagno Ugarte, *Deputy Executive Director, Advocacy*

Dinah PoKempner, *General Counsel*
James Ross, *Legal & Policy Director*
Hassan Elmasry, *Co-Chair*
Robert Kissane, *Co-Chair*

2018年12月3日

〒564-0062

大阪府吹田市垂水町3丁目34-15 伸栄第1ビル4階

カンボジアについて

本田圭佑様

拝啓

師走の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。貴殿がサッカー・カンボジア代表のゼネラル・マネージャーに就任された件について、本書間を差し上げております。戦争と貧困に苦しむ発展途上国カンボジアに対し、貴重な時間を割いて支援の手を差し伸べられていることに敬意を表します。世界各地と同じように、カンボジアでもサッカーは大変人気のあるスポーツです。世界のステージで戦える代表チームがカンボジアにできる日がくるのも、夢ではないと思います。

ヒューマン・ライツ・ウォッチ(本部・ニューヨーク)は、1978年に設立された世界最大級の国際人権NGOです。世界90余国の人権状況を調査・モニターしています。1997年には、地雷廃絶条約を実現させたことを評価されて他の団体とともにノーベル平和賞も受賞いたしました。2009年4月に東京事務所を開設し、日本からも日本内外の人権保護に向けた活動を展開しています。

私は1993年から98年までカンボジアに住み、クメール・ルージュ時代以来初のバスケットボール全国リーグの立ち上げに関わりました。プノンペンのローカルリーグではありましたが、若い選手を育て、ユニフォームを購入し、バスケットへの関心と競技のレベルアップを助ける組織作りを行いました。私たちは、当時の第一首相が支援するチームとの対抗試合も企画し、第一首相をはじめ他の閣僚がゲームに足を運んでくれたこともあります。

このことから、私が大のカンボジアスポーツのサポーターであることをおわかりいただけたかと思います。しかし、これと同時にフン・セン首相の下でカンボジアは独裁国家になってしまったことを認識する必要があります。フン・セン政権は最大野党を解党し党首を投獄した後、7月に総選挙を実施。125議席すべてを与党が獲得しました。ジャーナリスト、野党議員、活動家などは日常的に、恣意的な訴追や投獄などの脅迫や嫌がらせを受けています。

HUMAN
RIGHTS
WATCH

HRW.org

こうした現実から考えて、貴殿が 2018 年 8 月 12 日のプノンペンでのゼネラル・マネージャー就任記者会見で、フン・セン首相の盟友であるカンボジア・サッカー連盟会長サオ・ソカ氏と同席している写真を目にし、私たちはショックを受けました。ヒューマン・ライツ・ウォッチは、2018 年 6 月に発表した報告書『カンボジアのダーティーな 12 人:フン・セン政権下の将官たちによる長い人権侵害の歴史』の中で、カンボジア王国警察隊総司令官兼カンボジア王国軍総司令官代理であるサオ・ソカ将軍が、悪名高い人権侵害の責任者であり、戦争犯罪の容疑者であることについて詳しく説明しました。サオ・ソカ氏の部隊は超法規的処刑、拷問、違法逮捕、非暴力の抗議運動に対する攻撃といった人権侵害に手を染めてきました。

サオ・ソカ氏はカンボジア警察隊の総司令官代理として、流血の事態となった 1997 年のクーデターで主要な役割を果たしたと認めています。カンボジアの人権状況に関する国連特別報告者(当時)の Thomas Hammarberg 氏の報告によれば、トゥール・コーク (Toul Kork) の警察隊本部は人々の拘禁や拷問、処刑に使われました。また国連の人権調査チームは、少なくとも 30 人の兵士が、警察隊によってカンバウル (Kambaul) の警察隊学校で拘束され、拷問を受けたことを確認しています。

各国政府はサオ・ソカ氏が人権侵害に関与したことを以前から認識しています。警察隊設立を支援したフランスの政府高官はヒューマン・ライツ・ウォッチに対し、サオ・ソカ氏が「犯罪行為と暴力に関与している」と述べています。

カンボジア警察隊が関与した人権侵害行為を受け、カンボジアの人権状況に関する国連特別代表は同組織の解体を求めました。ヒューマン・ライツ・ウォッチはサオ・ソカ氏の解任と、氏に対する犯罪捜査の実施、侵された人権侵害行為にふさわしい訴追を求めています。

報告書『カンボジアのダーティーな 12 人』のうちの 1 章すべてが、サオ・ソカ氏が関与した人権侵害の詳細を記した章となっています。この章を日本語に翻訳し、この書簡に添付させて頂きました。

また、すでにご存じかもしれませんが、サオ・ソカ氏が 2006 年にカンボジア・サッカー連盟会長に指名された際、国際サッカー連盟 (FIFA) は選挙不正を理由として、この人事の承認をしませんでした。2006 年のプノンペン・ポスト紙の記事によれば、「FIFA (本部) 代表のジョゼフ・S. ブラッター氏が署名したカンボジア・サッカー連盟 (CFF) 宛の書簡には、『FIFA が受領したすべての書類を審査したところ、FIFA 規程 17 条について、政治的な干渉を理由とした明白な違反があったと結論した。(中略) FIFA としてはこの選挙なるものを認める立場にはない』と書かれている」のです。つまり、1997 年のクーデターを行ったフン・セン首相が、代表職に適正に選ばれた自身の政治的ライバルに近い人物を退け、サオ・ソカ氏を代表に就任させたと見られるということです。

弊団体などからの懸念に応え、FIFA は最近 FIFA 規程に人権を守る条項を追加し、すべての運営に適用される人権ポリシーを採用し、人権マネージャーを雇用し、人権アドバイザリー・ボードを設置しました。ヒューマン・ライツ・ウォッチは FIFA と定期的に協議し、こうしたプライオリティ事項について助言を行うと共に懸念点も伝えています。

貴殿は、8月12日にサッカーカンボジア代表のゼネラル・マネージャーに就任された際には、サオ・ソカ氏の経歴についてご存じなかったのではないかと考えております。世界的に著名なサッカーのスーパースターである貴殿が、世界的に悪名高い人権侵害者のサオ・ソカ氏と緊密な関係を築いていることを、弊団体は憂慮しております。

この件について、是非一度お会いして、お話し合いをさせて頂きたく思っております。何卒宜しくご検討下さいますようお願い申し上げます。貴殿からのご返信をお待ち申し上げます。

敬具

国際人権 NGO ヒューマン・ライツ・ウォッチ
アジア局長
ブラッド・アダムス

